

# 掛川東高校

## 世代を超えた交流が盛んなまちへ

今月は掛川東高校の生徒4人が、さまざまな世代の方が集まって交流できる場をつくることを提案してくれました。気軽に立ち寄れる施設で交流することで、市民主体の活動や掛川の魅力再発見を促し、よりよい掛川につなげていきます。

(☎)市長政策室 (☎21-1209)



### 世代を超えた交流でよりよい掛川へ

みなさんは最近、他の世代の方と交流する機会がありましたか。市内には、多くの人が集まる場所として図書館、児童館、総合体育館などの大型施設があります。これらの施設では、日々さまざまなイベントや集まりが行われていますが、世代を超えた交流は多くないように感じます。

肴町にある蓮福寺では、さまざまな世代が交流するイベントが行われています。学生のための勉強スペースや遊び場を提供する「放課後寺子屋」や、大人と学生が気軽に意見交換ができる「おしごとわたしごと」などです。いろいろな年齢の児童生徒が自分のペースで学んでいる姿や、世代を超えて未来の掛川や自分たちについて語り合っている姿を見て、こうした交流がよりよい掛川につながるのではないかと思います。

そこで私たちは、さまざまな世代の方が気軽に立ち寄って交流でき、掛川の魅力を再発見できる複合施設を作ることを提案します。

### 交流イベントでは高校生も活躍

施設の利用は、さまざまな年代の方が利用していて、人が集まりやすい駅周辺がいいと思います。

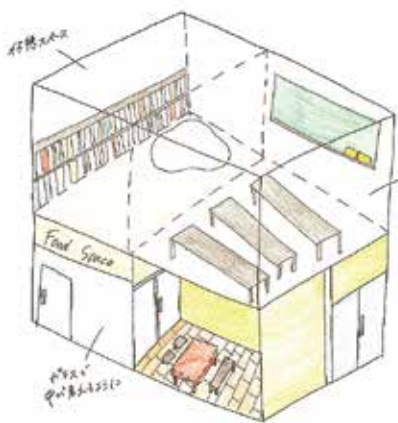
施設にはいろいろな交流イベントを

行う多目的ホールのほか、勉強、飲食、休憩のスペースを設けます。インターネット環境を整えることで仕事や勉強目的でも使いやすくなり、さまざまな年代の方が立ち寄りやすくなります。併設する飲食店では、掛川の特産品を使用したメニューを販売すると、全世代に掛川についてより深く知ってもらう機会になるのではないのでしょうか。

多目的ホールでは、広い世代で意見交換したり、交流しながら新しいスキルを身に付けられるイベントを開催します。例えば、小中学生と大人が集まってこれからの掛川市について意見交換するイベントや、スマートフォンを使い方講座などです。こうしたイベントを行うときは、私たち高校生も講師役などで協力でき

と思っています。

さらに学校の枠を超えて若い世代の方に興味を持ってもらうため、SNSを利用して施設やイベントの情報発信することで、より多くの学生を集めることができます。また、意見箱を設置し、イベントや施設に関する人々の声を聞くことで、さまざまな意見を違った視点から集めることができ、市民主体の活動の実現が見込めます。



この記事は私たちが作りました！

右から  
二俣香萌さん  
青野好華さん  
松浦里奈さん  
鈴木夏緒さん



市ホームページ  
高校生が描く掛川